



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月25日

上場会社名 テクノホライゾン株式会社  
コード番号 6629 URL <https://www.technohorizon.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 052-823-8551

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	23,503	0.9	148	8.0	7		276	
2024年3月期中間期	23,286	22.4	161		680		293	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 944百万円 (61.9%) 2024年3月期中間期 582百万円 (59.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	20.50	
2024年3月期中間期	21.81	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	37,539	10,659	28.4
2024年3月期	36,092	9,813	27.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 10,644百万円 2024年3月期 9,799百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				10.00	10.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	2.8	1,050	1.3	900	47.3	600	40.1	44.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	21,063,240 株	2024年3月期	21,063,240 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	7,586,242 株	2024年3月期	7,586,232 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	13,477,001 株	2024年3月期中間期	13,477,009 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社の組織体制は、2024年4月1日よりこれまで以上に指示命令系統を明確にし、意思伝達系統を簡素化することで迅速な業務執行の促進を図るため事業本部制から本部制に移行し、執行役員制度を廃止いたしました。

また、管理職も部長・課長職からマネージャー職に移行し、一階層にすることでフラットな組織にいたしました。その結果、現場での意思決定を速め、早期に課題解決を図る体制へと移行しております。

事業面では、営業は地域別とし、グループすべての製品を扱うことで効率をアップしております。開発では、グループを横断して技術を共有し競争力の高い製品開発に努めております。また、グループ間の組織を融合しこれまで以上に事業シナジーを追求して参ります。

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高23,503百万円(前年同中間期比0.9%増)となりました。利益面では、売上総利益率が改善する一方で、円高の進展により為替差損を185百万円計上しました。この結果、営業利益148百万円(前年同中間期比8.0%減)、経常損失7百万円(前年同中間期は経常利益680百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失276百万円(前年同中間期は親会社株主に帰属する中間純利益293百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、2024年4月1日付の組織変更に伴い、当中間連結会計期間より、従来「映像&IT事業」に含まれていた一部の当社事業(ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの業務用車載器や医療機器等)及び一部の連結子会社の報告セグメントを「ロボティクス事業」に変更しております。

前中間連結会計期間のセグメント情報は、この組織変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

#### ① 映像&IT事業

シンガポールの子会社2社(アジア地域でのサイバーセキュリティ製品の卸売及びオフィス機器やAVシステムの販売)は、引き続き堅調に推移いたしました。海外教育市場では、アメリカ及びヨーロッパの子会社が堅調に推移し収益に貢献しました。国内の教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売は、文部科学省による2019年から開始したGIGAスクール構想(生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備)で導入した機器の入れ替えが進み、前年同中間期対比では増加いたしました。今後、更新需要の増加が期待され、GIGAスクール構想第2期を念頭に活動を強化していきます。

これらの結果、映像&IT事業における当中間連結会計期間の売上高は16,413百万円(前年同中間期比11.0%増)、営業利益は434百万円(前年同中間期は営業損失21百万円)となりました。

#### ② ロボティクス事業

国内のFA関連機器等の販売では、国内子会社のはんだ付けロボットは堅調に推移しましたが、国内の量産機や検査装置が前年同中間期実績を下回りました。一方、中国では工場の設備投資環境悪化の長期化に備え、経費削減による体質強化に努めております。

これらの結果、ロボティクス事業における当中間連結会計期間の売上高は7,090百万円(前年同中間期比16.6%減)、営業損失は290百万円(前年同中間期は営業利益187百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は27,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ834百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が324百万円、電子記録債権が497百万円減少した一方で、現金及び預金が708百万円、商品及び製品が876百万円、仕掛金が292百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ612百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が63百万円、無形固定資産が515百万円、投資その他の資産が33百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は37,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,447百万円増加いたしました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は21,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は5,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は26,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ600百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は10,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ846百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が411百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が1,262百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.4%（前連結会計年度末は27.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,191,204	3,899,511
受取手形及び売掛金	11,024,927	10,700,661
電子記録債権	1,157,190	659,790
商品及び製品	3,836,739	4,712,890
仕掛品	1,427,979	1,720,317
原材料及び貯蔵品	3,285,227	3,413,169
その他	2,535,305	2,181,103
貸倒引当金	△97,810	△91,795
流動資産合計	26,360,765	27,195,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,062,971	1,050,557
土地	2,588,962	2,590,286
その他(純額)	1,709,795	1,784,396
有形固定資産合計	5,361,729	5,425,239
無形固定資産		
のれん	1,308,266	1,273,637
その他	1,430,658	1,980,617
無形固定資産合計	2,738,924	3,254,255
投資その他の資産		
その他	1,670,869	1,704,571
貸倒引当金	△39,752	△39,752
投資その他の資産合計	1,631,116	1,664,819
固定資産合計	9,731,770	10,344,314
資産合計	36,092,535	37,539,963
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,082,846	6,128,984
短期借入金	10,775,909	11,402,327
未払法人税等	271,644	267,139
賞与引当金	252,382	241,883
その他	3,744,784	3,473,036
流動負債合計	21,127,567	21,513,371
固定負債		
長期借入金	4,211,652	4,409,203
退職給付に係る負債	18,896	20,119
その他	920,933	937,328
固定負債合計	5,151,482	5,366,652
負債合計	26,279,049	26,880,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,456,918	3,456,918
利益剰余金	4,051,751	3,640,669
自己株式	△1,917,642	△1,917,647
株主資本合計	8,091,028	7,679,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62	△6,994
為替換算調整勘定	1,708,696	2,971,092
その他の包括利益累計額合計	1,708,633	2,964,097
非支配株主持分	13,823	15,900
純資産合計	9,813,485	10,659,939
負債純資産合計	36,092,535	37,539,963

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	23,286,483	23,503,350
売上原価	18,587,997	18,580,084
売上総利益	4,698,485	4,923,265
販売費及び一般管理費	4,537,173	4,774,929
営業利益	161,312	148,336
営業外収益		
受取利息	3,288	8,277
受取配当金	406	8,048
為替差益	481,659	—
不動産賃貸料	3,474	3,474
助成金収入	9,692	7,352
受取保険金	7,837	32,561
その他	64,838	44,755
営業外収益合計	571,196	104,470
営業外費用		
支払利息	42,210	68,470
為替差損	—	185,009
その他	9,674	7,198
営業外費用合計	51,884	260,678
経常利益又は経常損失(△)	680,624	△7,870
特別利益		
固定資産売却益	3,303	2,535
特別利益合計	3,303	2,535
特別損失		
固定資産売却損	2,679	116
固定資産除却損	7,080	1,124
製品保証引当金繰入額	201,880	—
その他	66	—
特別損失合計	211,707	1,241
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	472,220	△6,576
法人税等	163,940	267,658
中間純利益又は中間純損失(△)	308,280	△274,235
非支配株主に帰属する中間純利益	14,395	2,077
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	293,885	△276,312



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	308,280	△274,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,809	△6,931
為替換算調整勘定	276,469	1,225,267
その他の包括利益合計	274,660	1,218,335
中間包括利益	582,941	944,100
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	563,373	942,023
非支配株主に係る中間包括利益	19,567	2,077

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	472,220	△6,576
減価償却費	448,073	480,047
のれん償却額	265,367	229,592
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,118	△11,505
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,353	△679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16,715	△11,554
受取利息及び受取配当金	△3,695	△16,326
助成金収入	△9,692	△7,352
受取保険金	△7,837	△32,561
支払利息	42,210	68,470
為替差損益 (△は益)	△275,701	174,374
固定資産除却損	7,080	1,124
固定資産売却損益 (△は益)	△623	△2,418
売上債権の増減額 (△は増加)	2,709,259	1,481,193
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△186,878	△794,066
前払費用の増減額 (△は増加)	△338,960	94,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,297,878	△355,515
未払金の増減額 (△は減少)	△217,291	△347,257
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△184,049	△196,517
その他	△127,975	384,887
小計	259,147	1,131,595
利息及び配当金の受取額	4,486	33,997
助成金の受取額	9,692	7,352
保険金の受取額	7,837	32,561
利息の支払額	△42,536	△67,276
法人税等の支払額	△311,997	△273,157
法人税等の還付額	38,580	17,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,788	882,630
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△276,144	△196,019
有形固定資産の売却による収入	103,786	4,582
無形固定資産の取得による支出	△13,433	△18,815
投資有価証券の取得による支出	△3,453	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△257,717	—
事業譲受による支出	—	△590,270
関係会社株式の取得による支出	△57,500	△47,432
その他	135,995	△19,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368,467	△867,259
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	49,400	402,160
長期借入れによる収入	800,000	1,729,496
長期借入金の返済による支出	△1,242,453	△1,339,883
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△106,548	△164,156
配当金の支払額	—	△134,770
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による 支出	△70,980	—
その他	△0	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△570,581	492,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	126,310	200,093
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△847,527	708,306
現金及び現金同等物の期首残高	3,683,306	3,191,204
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	365,592	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,201,372	3,899,511

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,782,531	8,503,951	23,286,483	—	23,286,483
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,782,531	8,503,951	23,286,483	—	23,286,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	427,469	427,469	△427,469	—
計	14,782,531	8,931,421	23,713,953	△427,469	23,286,483
セグメント利益又は損失(△)	△21,720	187,750	166,029	△4,717	161,312

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,717千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「映像&IT事業」セグメントにおいて、2023年4月25日付でウェルダンシステム株式会社の株式を取得したことに伴い、当中間連結会計期間より同グループを連結の範囲に含めております。このことにより、のれんが309,154千円発生しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	16,413,204	7,090,146	23,503,350	—	23,503,350
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,413,204	7,090,146	23,503,350	—	23,503,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	311,113	311,113	△311,113	—
計	16,413,204	7,401,260	23,814,464	△311,113	23,503,350
セグメント利益又は損失(△)	434,973	△290,026	144,946	3,389	148,336

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3,389千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「映像&IT事業」セグメントにおいて、2024年6月30日付で株式会社ブイキューブの緊急対策とフィールドワークの専門領域に特化したDX支援を行うプロフェッショナルワーク事業を譲り受けたことに伴い、当中間連結会計期間において、のれんが126,979千円発生しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年4月1日付の組織変更に伴い、当中間連結会計期間より、従来「映像&IT事業」に含まれていた一部の当社事業(ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの業務用車載器や医療機器等)及び一部の連結子会社の報告セグメントを「ロボティクス事業」に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、この組織変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。